

各分野別評価に係る論点整理

事務局でまとめた資料についての論点は以下のようなものを想定しています。

- ・全分野に渡る施策（平和、人権など）をどの様に各分野との連携を図っていくか（横串を刺していくか）。
- ・公共施設や社会インフラの維持管理に係る大幅なコスト増が見込まれる中、そのコストをどう圧縮し、効率的に管理するか。
- ・例えば緑地の保全（公有地化）の様に後年度負担が想定されるものについてどう対応していくか。
- ・限られた資源（ヒト・モノ・カネ）の中、様々な分野の施策（防災、子育て、高齢者福祉、インフラ管理など）をどう取捨選択するか。
- ・稼ぐ仕組みとなる事業（例えば産業振興、観光振興、新たなまちづくりなど）への投資。
- ・事業成果を高めるための施策間連携や地域間連携（都市連携）などについて。
- ・第4次産業革命といわれるテクノロジーの活用について。
- ・計画体系について（例えば、共生社会の推進、長寿社会の到来、出産から成人までの切れ目のない支援など、社会環境や市民ニーズの変化への対応といった視点から第4章「健やかで心豊かに暮らせるまち」の構成はこのままで良いかなど）。
- ・第3期基本計画は、事業の選択と集中を掲げ策定した計画であるが、さらなる選択が求められるかどの様な構成とすべきか。
- ・行政（公）の担う範囲やサービスレベルについて。

上記は、あくまでも例えです。総合計画審議会においては、事業評価ではなく、次期基本計画策定に向けて大所高所からのご議論を頂きたいと考えています。